

「行財政の運営と改革」、そして「まちづくり」の着実なる前進へ

高橋市政による財政の健全化

粕江市議会公明党が昨年明らかにしたように矢野市政16年間で、貯金にあたる基金を45億9千万円も減らし、借金にあたる市債残高は4千5百万円しか減らすことができませんでした。現在、借金(市債)残高は2百億を超えています。現実には借金のための借金を重ねているようなものです。

高橋市政は昨年の7月に発足しましたが、その1年目から財政の健全化への大鉦を振るい始めています。

臨時財政対策債の発行を苦しい財政状況の中でも抑制し、昨年度1億円、今年度は2億円以上も粕江の将来世代の為に残しました。一方では徴収率を向上させるなどして財政の健全化は着実に進んでいます。



「市民(ひと)輝くこまえ」なるビラによる事実のすり替え

これまでに、高橋市政は、都内では初めて市域全体の放射線量調査や小学校へのタブレット端末の導入、セカンドブック事業をスタートさせるなど前市長では望めなかった施策を実行してきています。更に、前共産市政がこれまで拒み続けてきたかのように消極的であった防犯カメラが間もなく粕江駅に設置されます。そして、市政長年の課題であった水道道路の整備も動かし始めています。

これまで全く整備が進んでこなかったのは東京都と市の信頼関係が失われていたという事実があるからだと言った市長は就任直後から都との信頼関係の修復に努めました。そして、都の信頼を失っていた最大の原因が遅々として進んでいなかった水道道路と交差する市道3・4・16号線の整備であったことから、懸案となっていた用地買収などに取組み、それが実現したのは高橋市政になってからのことでした。そこで初めて東京都は今年度から事業開始の前提となる航空測量や概略設計を行うゴーサインを出したのです。

「市民(ひと)輝くこまえ」なるビラはその事実をすり替え、あたかもすぐにも動くことが前から決まっていたかの様な言い方をしています。あきれて物も言えません。保育園の民営化や小学校給食調理の

和泉多摩川緑地の都立公園化

市長は8月29日、猪瀬東京都知事に市民の永年の懸案である同緑地の都立公園化を要請しました。これまでの紙切れだけの要望とは異なり、関係局長である知事本局長、総務局長、財務局長、都市整備局長、建設局長、水道局長なども直接会い、今後のスケジュール等を確認しながらの要請であり、これからの動きにも大いに期待できます。

防災体制の確立

市長就任後精力的に他自治体等との連携に動き、防災体制が着々と構築されています。同時に被災する可能性の低い、静岡県三島市、宮城県石巻市、山梨県上野原市などこの半年の間に矢継早やに応援協定を結んだほか、近隣の世田谷区とは従来の協定を具体化した協定を、また、調布市とは慈恵第三病院を間に挟み緊急避難救護所の開設に関する覚書を締結しました。10月25日を安心して安全なまちづくりの日として定め新築となった防災センターを中核とする堅固な防災体制を構築し続けています。



平成24年度 一般会計決算が認定されました!

～一般会計決算の「認定」は5年ぶり～

平成25年10月8日粕江市議会第3回定例会本会議において、平成24年度粕江市一般会計決算が、自民・公明等の賛成多数によって「認定」がされました。粕江市において一般会計決算が「認定」されたのは実に5年ぶりのことです。決算審査での指摘事項等を的確に翌年度予算編成作業につ

なげていくという目的で高橋市長が決算審査時期を早め、第3回定例会会期中である9月25日～27日に決算特別委員会において決算審査が行われました。スピード感をもって改革に取り組む高橋市長の姿勢が表れています。



粕江市議会公明党は平成24度粕江市一般会計決算を「認定」としました。

平成24年度は「新しい市長の誕生」という大きな出来事がありました。前矢野市政の「継続」か、それとも「変革」か。市長選挙において「変革」を掲げた高橋くにひこ氏が新市長に就任しました。行財政の運営のあり方、行財政の改革への取り組み方等々、前の市政からのいわば16年間にわたり積み重ねてきた大きな課題を前に、「変革」のために「今すぐやるべきこと」を着実に実行してきたことが、「基本計画の見直しや行財政改革の見直し」に代表される計画類の見直し、そして、現在からこれからの将来までを視野に入れた財政課題を解決するための財政規律遵守のルールや財政基準設定と財政計画の策定等にあらわれています。前期基本計画は総花的で外部評価委員からも目標となる指標の多くが適切でないと指摘されていました。後期基本計画では選択と集中の考え方の下、限られた資源の中で市政を確実に前進させていくために、重点プロジェクトとして数値目標を明らかにしながら、その確実な達成を目指し、現実直視型のプランともなっています。「現実を変えていくためには現実を直視していく」至極当然であります。また、新たな行財政改革の大綱を「計画の推進にむけて」後期基本計画に盛り込み、課題解決を先送りしているところがあったことを率直に見つめなおし、「質の行革への転換」を図っています。

公共施設整備計画では粕江第三中学校移転など、これまでの計画の推進が現実的に困難になったことに伴い、粕江市の身の丈に合い、かつ実効性のある計画とするために見直しがされました。新市長の下、平成24年度における「財政運営」はこれまでの運営からの「脱却」を目指し、着実に努力をし、考え方を整理しながら進められました。とりわけ、将来への「負担軽減」へとつながる、との考えから「臨時財政対策債の発行抑制に努めること」これを初めて明文化し、「財政規律・財政基準」として財政計画に明記、盛り込んだことについては財政の健全化を至上課題とする粕江市においては特筆すべきことだと思います。そして、1億840万8千円の抑制を実際に平成24年度にしています。このほかにも、不十分なままであった近隣自治体との連携の改善、さらに、水道道路の整備や水道局用地の活用といった課題について、一片の紙切れによる要求に終止してきたことを深くあらため、東京都との信頼関係の修復に努力し、実際に行動したことなどが着実に実を結びつつあります。粕江市議会公明党はこれらのことを評価し、平成24年度粕江市一般会計決算を「認定」としました。

市民相談・法律相談を行っています!

公明党では市民相談・法律相談を行っています。どんなことでもお気軽にご相談ください。詳しいことは、各議員へお問い合わせください。

			
佐々木たかし 03-5438-2172	小野寺かつき 03-3488-6863	かめい和美 03-3480-2741	石川かずひろ 03-3480-9516